

ポータブルWi-Fiルーターで ネット環境がない施設でも インターネットを使えるように。

■アイシーエス様 導入事例

岩手県盛岡市に本社を置き、青森、秋田、宮城にも拠点を展開する、東北地方を代表する総合情報サービス企業です。システムインテグレーションやシステム構築、ソフトウェア開発などを通じ、県や市町村などの自治体、医療機関、大学、企業向けに多様な情報サービスを提供されています。

左より企画営業統括本部 経営企画部副部長 川村文明氏、企画営業統括本部 営業推進部 参事 佐藤泰広氏、公共システム事業支援部 QCグループ 主査 佐藤光寿氏



目的・課題

環境整備

業務効率向上

コスト削減

業種

情報 / 通信

導入製品

無線LAN

●導入製品



ドコモデータ通信機能内蔵
ポータブルWi-Fiルーター
DWR-PG***8台

■概要

まず御社についてお聞かせください

1966年に設立された総合情報サービス企業です。岩手のほか、青森、秋田、宮城にも拠点を構え、県や市町村などの自治体向けおよび医療機関向けの各種情報サービスを得意としています。システムインテグレーターであるのと同時に、メーカー系列にこだわらないマルチベンダーとしても各ユーザー様から評価をいただいています。

東日本大震災の影響はいかがでしたか

幸い、当社への被害はあまりありませんでしたが、お客様である自治体や医療機関の中に大変な被害を受けたところが多数ありました。地震や津波によって庁舎が倒壊したり、浸水したりして、サーバーが使用不能になったり、ネットワークが使えなくなったりした自治体様が少なくありません。そうしたお客様の復旧を支援することは当社にとって緊急を要する課題と言えました。

そうした中で復旧支援に乗り出されたわけですね

行政サービスをいち早く再開するべく業務の復旧に向けて動き出した各自治体様向けに、さまざまな支援活動をスタートさせました。システムを仮運用できるようにするための環境の整備やデータの復旧、あるいは仮庁舎で業務を再開するためのネットワーク敷設作業などがそれです。これは今も続いており、復旧は長期にわたるとの覚悟で支援に取り組んでいます。

■目標・課題

支援はお客様以外にも行っていると聞いています

お客様である自治体様へ復旧支援をするのは当然です。しかし、そうでない所に対しても何か支援できないかと考えていました。それで業界団体や大手IT企業が進めている支援活動にも積極的に協力していたのですが、当社の社員が何度も被災地へ足を運ぶうちに、そうした支援がまだ行き届いていない所のあることがわかってきたのです。

どういった所ですか

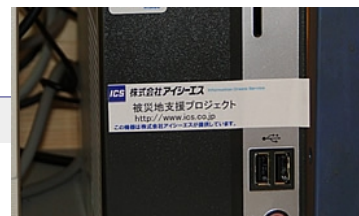
大きな避難所などは、たとえばパラボランテナを立てて通信を行っていることが多いのですが、在宅避難者や私設の公民館といった自治体が直接管理していないような所にはそうした支援はあまり届いていなかったのです。したがって、その地域の人が情報を得ようとするなら役場にある張り紙を見に行くとか、大きな避難所へ聞きに行くしかありません。電話回線は何とか回復させたけどネットワーク回線までは手が回らないという所が少なくなかったのです。

それでネットの利用環境の提供を考えたのですね

情報が入手できないというのはとても不安なものです。だから、支援のない所でインターネットが利用できる環境を早く整えてあげたいというのが動機でした。ただ、パソコンなどは比較的確保しやすかったのですが、肝心の通信機器がなかなか入手できないのが悩みでした。携帯電話の回線を使って利用環境を整えようにも、必要な機器が十分になかったのです。



岩手県を中心に自治体や学校、病院向けの各種情報サービスを提供されています



アイシーエス様は、被災地支援プロジェクトを立ち上げられて積極的に支援をされています



アイシーエス様はさまざまな施設へ支援用のパソコンや周辺機器などを提供されています



在宅避難者や仮設住宅入居者への支援としてインターネット接続環境の提供がテーマとなりました（左は大船渡市・泊地区公民館、右は大船渡市役所吉浜地区拠点センター）

■解決策

採用していただいた理由は何だったのでしょうか

パソコンは提供できても携帯回線を使ったネット環境の提供に苦慮していた私たちに、ちょうど良いタイミングでバッファローさんからポータブルWi-Fi ルーターを使った被災地におけるインターネット環境構築の提案をいただきました。そしてバッファローさんにポータブルWi-Fiルーターの提供をお願いしたら、快諾してくださったわけです。

どういった協力になったのですか

最終的に「ドコモデータ通信機能内蔵ポータブルWi-Fiルーター DWR-PG」を8台、貸出させていただきました。しかも、バッファローさん側で6ヶ月の通信契約をした上での貸与でした。バッファローさんとは以前からおつきあいがあったわけですが、「一日でも早い復興を」という願いは一致していましたから話はスムーズに進みました。その後もバッファローさんと組んで、釜石市役所や野田村役場などのネット環境を復旧させるなどの被災地支援を行ったりもしましたね。



バッファローが提供させていただいたポータブルWi-Fiルーター

どこに設置されたのですか

被災地出身の社員が現地に出かける中で、必要性が高いと感じた集会所や公民館、老人保健施設などに設置しました。陸前高田市や大船渡市、山田町、野田村の計6ヶ所ですが、たとえば大船渡市の泊地区では、東海大学が設置した公民館にルーターとパソコン、液晶モニターを置き、太陽光発電の電源を使ってインターネットが使える環境を用意しました。



ルーターとパソコン、液晶モニターを置き、太陽光発電の電源を使ってインターネットが使える環境を整えた泊地区公民館

■効果

実際にお使いいただいていたかがでしょうか

インターネットを使いたくても利用できなかったわけですから、とても喜んでいただきました。意外だったのは、ネットで情報を集めるのとは別に、ショッピングに利用される方がいたことです。仮設住宅には最低限のものは揃っていますが、たとえばタンスなんかはありません。購入しようにも遠い盛岡まで出かけるいけない。しかし、ネット通販なら仮設住宅まで配送してくれます。そういった面でも「助かった」と感謝されました。



陸前高田市にある介護老人保健施設・松原苑様にも導入させていただきました

Wi-Fiルーターの評価はいかがですか

置く場所が場所ですから、十分なスペースがあるわけではありません。市販のパソコンラックに乗せるしかない所もありましたから、コンパクトなのは助かりました。同時に複数台のパソコンが無線接続できますし、有線でもつながる点も評価できます。ある所では、このルーターを見た方が「これはいい」とおっしゃって、個人で同じルーターを買われた方もいらっしゃいます。



どこにでも設置できるコンパクトサイズがポイントです

バッファローについてはどうですか

個人向けというイメージがあったので、法人向けの製品が充実していることにはちょっと驚きました。要望としては、今まで以上に信頼性が高く、故障のない製品を提供していただきたいということです。ご存知のように岩手はとても広い県です。お客様も遠い。訪問するのにすごく時間がかかってしまう以上、製品は簡単に故障してもらっては困ります。お客様にバッファロー製品を奨めるためにも、さらなる信頼性の向上を期待しています。

(編集後記)被災地の復興にできるだけ貢献したい。この一点でアイシーエス様とバッファローが一致協力して取り組んだ支援事例と言えます。一般消費者向けというイメージの強い「ポータブルWi-Fiルーター」ですが、コンパクトサイズや高機能性といった特徴を活かし、非常時用の通信環境構築に役立つ周辺機器といえます。

株式会社アイシーエス

1966年(昭和41年)の設立以来、自治体・医療・流通分野を主体とした専門分野に特化したシステムインテグレーター、マルチベンダーとして多くの実績があり、きめ細かいアフターフォローを行われています。またメーカーにこだわらず中立的な立場から、最新技術を活用したシステムの提供実績に、多くのユーザーから高い評価を得ている東北屈指の総合情報サービス企業です。

所在地(本社): 〒020-8544 岩手県盛岡市松尾町17番8号 電話: 019-651-2626 FAX: 019-651-2693 URL: <http://www.ics.co.jp/>